

消化器外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	前立腺全摘術後の鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下鼠径ヘルニア術（TAPP）の検討
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	（所属）外科学講座（消化器外科） （職名）准教授（特任） （氏名）齊藤 卓也
研究の対象となる方	2017年4月から2026年3月にかけて当院で前立腺全摘術を施行され発症した鼠径ヘルニアに対し、当院で腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術（TAPP）を施行した患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2027年9月30日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 前立腺全摘術後の鼠径ヘルニアに対し、腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（TAPP）の妥当性と安全性を検討することを目的としています。 〔利用方法〕 本院において前立腺全摘術後に行った TAPP の再発率、手術時間、出血量、入院期間、疼痛スケール、合併症の有無を診療情報より収集し、手術の安全性、妥当性を検討します。個人が識別できる情報を 削除し集計します。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、TAPP の再発率、手術時間、出血量、入院期間、疼痛スケール、合併症の有無等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2027年6月30日までに窓口での受付、電話等により下記問い合わせ先まで申し出てく

場合	ださい。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 消化器外科 担当者：(職名) 助教 (氏名) 上田 翔 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22121)